

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

2023

4月号

vol. 275

communication × voluntary



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」
ごみ拾いをみんなで楽しみ
美しい海を、未来のこどもたちへ

NPO法人 大阪海さくら

5 令和4年度
地域こども支援ネットワーク事業
シンポジウム報告

8 厚生労働大臣表彰受賞!!
サロン・あべの
NPO法人アジアハウス



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

ごみ拾いをみんなで楽しみ

美しい海を、未来のこどもたちへ

NPO法人 大阪海さくら



琵琶湖から流出し、約75kmの距離を流れて大阪湾へ注ぐ淀川。その河口は、流域で暮らす人たちの生活ごみも流れてたどり着く場所。大阪湾への流出を防ぐための最後の砦です。

『NPO法人 大阪海さくら』（以下、大阪海さくら）は、そんな此花区の淀川河口で、10年以上の間、ごみ拾い活動

月に一度、淀川で
せつせと楽しくごみ拾い

※引用: 環境省 令和2年度版 環境・循環型社会・生物多様性白書

今回は、淀川河口でのごみ拾い活動、海へのアマモ移植活動などを通じて、大阪の海から海洋環境を守ることに取り組んでいるボランティア団体をご紹介します。

す原因となっています。

私たちは毎日のように消費するレジ袋やペットボトル、食品容器などのプラスチック製品は、心無い捨て方をすることでごみとなり、さらには川から海へと流され、海洋汚染を引き起こす原因となっています。

いま何か対策を打たなければ、2050年には、海洋に住む魚などの生物よりも、ごみの方が多くなると言われている海洋汚染。



地元の小学校5年生は、今回で5回目の参加

を続けている団体です。取材の日、集合場所の伝法公園に向かうと、長年参加している地元の人や小学生、尼崎や堺、高槻市から参加した大学生、社会人など、約20人のボランティアが集まっていました。

「今日は人数が少ないね」と、参加した大学生。多い日には50人近くのボランティアが参加していると話します。

みんなで淀川の堤防まで移動すると、およそ300メートル先の伝法漁港前まで、ごみ拾いのスタートです。堤防で待っていたスタッフから『大阪海さくら』のトレードカラー、ピンク色のトンブとごみ袋を受け取ると、早速、思い思いの場所でごみを拾います。



参加したボランティアの皆さんで記念撮影

「大阪湾内で回流しているごみが、今日のような大雨の後には川に上がってくることもあり。暴走族ののぼり旗やマネキン人形の頭なんかが流れてくることもあって、イベントで『おもしろごみ大会』を開くこともあるんですよ」と、団体理事長の那須睦美さん(以下、那須さん)は陽気な笑顔で話します。

いつばいになったごみ袋はスタッフが自転車で回収し、新しいごみ袋と交換しながら、2時間ほどでゴールに到着。この日はみんなで合計24袋のごみを拾いました。

海を守るごみの大切さを音楽とつないで発信

川面を優雅に進む鳥を眺めたり、心地よい空気を感じたり。のんびり、楽しみながら活動するのが『大阪海さくら』のルール。道の脇に落ちているごみを歩きながら拾っていく人、堤防のコンクリートブロックの隙間に手をのばしてごみを取り出す人、土手を降りて川岸のごみを拾う人などさまざまです。

堤防付近では空き缶、お菓子の袋、たばこの吸い殻など、川岸ではボールやくつ、植物用のプランターなどの大きなごみが目立ちます。魚たちが飲み込んでしまうことの多い、小さなプラスチックごみの破片もしっかりと拾います。

スキューバダイビングが趣味で、音楽関係の仕事をしていた那須さんが、淀川河口でごみ拾いを始めたのは2012年のこと。神奈川県の『江の島海さくら』が開催した、音楽ライブと海の清掃をミックスさせたイベントに参加し、「大阪でもこんな楽しいことをしよう!」と仲間たち呼びかけて活動がスタートしました。

「大阪市内の海には浅場や海岸がないので、「だったら海に流れる前の河口のごみをなんとかしよう!」と始めまし

た。川辺がきれいになることで、淀川もみんなに親しまれる場所になればいいなと思っています」と、那須さん。

市内各地の小学校から、課外授業としてごみ拾い活動を依頼されることもあり、そんな時にはごもたち、ごみによつて海でどんなことが起きているのかをしっかりと伝えます。さらに10年の間には、『大阪海さくら』の活動を知り、社会貢献をしたいとごみ拾いを協働する企業も増えました。

また、那須さんが当初から思い描いていた、音楽とともに海の環境保全を発信するイベントも積極的に開催。せんなん里海公園で地元の市民団体と一緒に開催している『せんなん里海さくらフェス』は、コンサートと海洋保全についての展示や体験が楽しめるイベントで、今年で10回目を迎えます。

「音楽は好きだけど海には興味が無い、と言っていた人たちも、ステージで海についての話をすると真剣に聞いて



ごみから環境問題を考える、小学校の課外授業

くれるんです。みんな、いろんな気づきを持って帰ってくれているんだなあと感じます。」

1月には、『大阪海さくら』の活動10周年を記念したライブを開催。活動を応援するミュージシャンたちの音楽や、ゲストの大学教授による海の話をも200人近くの参加者で楽しみました。



記念ライブでは、こどもたちとミュージシャンが楽しく共演

アマモが群生する
美しく豊かな海を未来へ

『大阪海さくら』では、アマモを育苗して海へ移植する取組みにも力を注いでいます。



『大阪海さくら』理事長の
那須睦美さん

「アマモ」は海の浅瀬に自生する海草で、水中で光合成を行い、酸素を出しながら海水を浄化しています。また『海のゆりかご』とも呼ばれ、アマモが群生するアマモ場は外敵からの隠れ場所となり、エビやイカの産卵場や、幼稚魚が成長するまでの住処（すみか）になります。

ところがアマモ場は年々減少していて、海洋環境がさらに悪化してしまうことが危惧されているのです。

『大阪海さくら』では、毎年6月にアマモの花枝から種を摘み取り、養生して保管。発芽に最適な冬が近づくと、その種を約250個のポットに植えます。そして協力企業や課外授業に参加したこどもたち、ゴミ拾いボランティアの人たちに8cmほどの苗に育ててもらい、3月初旬に海に移植します。

ここ数年は、大阪湾の岸和田市沖にある人工干潟『ちきりアイランド』周辺に移植。大阪湾内にアマモが群生することで、さまざまな水生生物が集まり育つことを願って活動が続いています。

「運営メンバーで話をしていると、『今度はごみアートの日をつくろう』『いろいろなイベントに出向いて、もっと海のことを伝えたいね』など、いろいろな意見が出てきて休まる暇がないんです」と、那須さん。

大学のボランティア部の人たちと協力して楽しいごみ拾いイベントを企画したり、さまざまな団体とつながって、琵琶湖から淀川の上流、下流まで、各所で「ごみ拾いを行う機会もつくりたい」と話します。



兵庫県の江井島で種摘み前のアマモの花枝取り



アマモが群生する豊かな海をめざして

音楽やイベントとつなぎ、楽しく、

自分たちでできる

環境保全の取り組みを発信しつづける『大阪海さくら』。未来の海が美しく豊かで、こどもたちがもっと身近に親しめる存在になることを願いながら、これからも活動は続いています。

問合せ

NPO法人 大阪海さくら

Eメール oceanloverock@gmail.com

<https://www.osakamisasakura.com>

情報マーケット P9①にボランティア情報を掲載

「保険について考えた時」そんな時には…

- こんな保険ってあるのかな？
- 今入ってる保険を見直したい
- 満期案内が届いた。
保険料を比較してみたい



保険相談してみませんか？

保険の相談窓口

平日／9:00～17:00

☎06-6252-4520

E-mail insshima@plum.ocn.ne.jp

来店スペースも
あります。

取扱保険会社

- 損害保険会社 = 8社
- 生命保険会社 = 14社



取扱保険種類

- 損害保険 = 自動車・火災・傷害・賠償・旅行 等
- 生命保険 = 死亡・医療・がん・年金・学資 等



〈社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 提携代理店〉

株式会社 島本保険事務所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町4丁目1-3

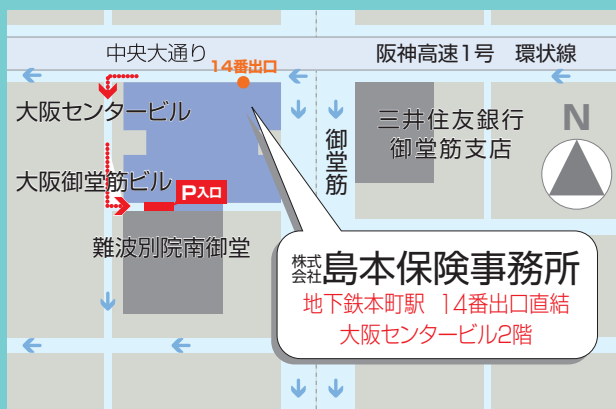
大阪センタービル2F

ホームページ <https://www.shj.co.jp/>

島本保険

検索

クリック





令和4年度 地域こども支援ネットワーク事業シンポジウム(地域福祉シンポジウム合同開催)

こどもたちが自分らしく生きるために「ヤングケアラー」について知る・学ぶ・理解する

1月29日(日)、「地域こども支援ネットワーク事業シンポジウム(地域福祉シンポジウム合同開催)」を大阪市社会福祉研修・情報センターにて、オンラインとの併用で開催しました。

それぞれの経験から考える ヤングケアラー

第1部では、最初に、大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子さん(以下、木村さん)による『支援を問ひなおす』『みんなの学校』が教えてくれたこと』の講演がありました。

木村さんは、当時、教育者として実感・経験したことを交えながら、ヤングケアラーについて話しました。

そして「こどもたちにとっての当たり前は、さまざまなんです。それを周りの大人が自分事として理解しなければなりません。こどもがこどもとして、大人の前で、今しかできない、こどもらしい振る舞いができるように。こどもとして成長していくその時間を、保証してあげられるような大人がいる地域を作ってきたい。そのためにはどうすれば変わっていくのか、私自身も日々、自問自答しています」と語りました。

続いて、『NPO法人ふうせんの会』(以下、ふうせんの会)の川寄大介さん

(以下、川寄さん)による「ヤングケアラーの経験から」の講演がありました。川寄さんは幼稚園の頃から母親と祖母との3人暮らしでした。小学生から約30年の間、家事に加えて、闘病中だった母親と祖母のケアを担っており、川寄さん自身の体調が崩れることも多々あったそうです。

「こども自身はその環境が当たり前になってしまっていて、困っているものごに相談すれば良いのが分からないし、助けを求めること自体、壁が高いんです。もし、皆さんの身近に同じような境遇のこどもがいたら、おせっかいでもいいので、迷わず関わってあげて欲しいです」と、参加者にメッセージを送りました。

まずは知ってもらうことから

第2部では、コーディネーターを務める桃山学院大学名誉教授の石田易司さん(以下、石田さん)の進行で、ヤングケアラーについてパネルディスカッションを行いました。

パネラーとして参加したのは、ふうせんの会事務局長の南多恵子さん(以下、南さん)と、第1部で登壇した川寄さん。また、アドバイザーとして、木村さんにも参加いただきました。

南さんからは「ふうせんの会は、家族のケアを担っているいた」こども・若者や、ヤングケアラーに関わる専門職が集まってきた団体です。彼らが安心して交流できる場をつくり、夢をもつて自分らしく生きていけるような社会を作るために、活動しています」と話がありました。



ヤングケアラーについて、パネルディスカッションを行いました。

欲しい」と、思いを語りました。病気や障がいに対して配慮のある社会は当たり前になってきましたが、それらを支援しているヤングケアラーについては、まだまだ注目されていないのが現状です。また、ヤングケアラーの背景には、貧困やネグレクトなどの社会問題も隠れているかもしれません。

地域の大人たちが、いち早く身近なこどもの異変に気づくためにも、まずはヤングケアラーというものを知り、地域全体で一緒に考えていく、支援していくことが大切であると、最後に石田さんがパネラー全員との共通の思いを伝え、ディスカッションを締めくくりました。

川寄さんは「現在、ふうせんの会との繋がりができたことで、人や社会と関わり、当時できなかった経験を取り戻すことができているように感じます。また、このような場で体験を話すことで、ヤングケアラーへの理解が少しでも広がって

問合せ

地域こども支援ネットワーク事業 事務局

TEL:06-6765-4041 Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp

<https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/>

※本シンポジウムについて、『大阪の社会福祉』(2023年3月号)でも掲載しています。



令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金 居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題 地域課題の解決のために開設した居場所の 継続的な運営を目的とした事業の支援

こどもたちに、本と過ごす心地よい時間を

おはなしボランティア アナンシ

『おはなしボランティア アナンシ』(以下、アナンシ)は、大正区内の小学校や保育園に出向き、ストーリーテリング(物語を覚えて語ること)で、こどもと本をつなぐサークルです。

「文字が多い本は、こどもにとって最初は親しみにくいものです。耳で物語を聞くことで『この本を読んでみたい』と興味生まれ、それが本の楽しさにふれるきっかけになればいいなと思うて

います」と、代表の福元美保さん(以下、福元さん)。

ストーリーテリングは、物語をイメージし、覚えるための時間や練習が必要ですが、聞き手と目と目を合わせ

て、お話の世界を分かち合えることが魅力。ぜひ多くの人にサークルに参加してほしいと話します。

『アナンシ』では、土曜日に大正図書館の『おはなしの部屋』を利用して、こどもと本をつなぐ居場所づくりにも取り組んでいます。

「ストーリーテリング以外にも、絵本やわらわうたなどもします。図書館に居場所があつて、遊びに

来ることが増えることで、こども向けの本も増え、そしてまた、こどもが増えていく。そんな

良い連鎖にしていきたいです」と、福元さん。

本に囲まれた心地よい居場所、こどもの感性や想像力が、豊かに、育まれていきます。



ストーリーテリングで、想像豊かな物語の世界へ

問合せ

おはなしボランティア アナンシ(担当:福元)
Eメール m-fukumoto@gol.com

おいでよ! 地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。

誰もが気軽にくつろげる居場所

大人と子どもの寺子屋「ばんげあ・ひろ」(城東区)

地域の集会所として使用されている『久楽庵』で、毎週水曜日の午前10時から午後6時の間に、誰が来てもよい秘密基地として開放している『ばんげあ・ひろ』。

毎回10〜15人ほどのこどもたちが入れ代わり立ち代わりしながら、宿題をしたり、お絵描きや折り紙、カードゲームで遊んでいます。また、そんなこどもたちをお母さんやボランティアが温かい目で見守っています。

代表の池田弘三さん(以下、池田さん)は「何をしてもいいし、何もなくてもいい。」「つあるべき」が無くて、



思い思いのことをして楽しめます。

子育て世代にはホッと息つける場所、シニア世代には生きがいづくりの場、こどもたちにとっては安全な放課後の居場所となる『ばんげあ・ひろ』。これからも、疲れた時や忙しい時にふらっと立ち寄りたくなる居場所として、地域に在り続けることによつて。

問合せ

大人と子どもの寺子屋「ばんげあ・ひろ」
Eメール info.pangaea.hiro@gmail.com



日本人と外国人が、理解し合って暮らすまちづくり

「何でも聞いてや！多文化共生実践講座」を開催！

外国人住民のリアルな声を聞いてみよう

2月4日、(公財)大阪国際交流センターと住之江区社会福祉協議会との共催で「何でも聞いてや！多文化共生実践講座」と題した多文化交流会が開催され、港地域で暮らす地域住民16人、外国人住民19人が参加しました。

大阪市内に住む外国人は15万人を超えており、住之江区でも年々増加しています。この講座は住之江区に住む日本



外国人住民が、日本での生活についての思いをスピーチ

人住民と外国人住民が交流し、それぞれの文化や居住ルールを知り、相互理解を深めることを目的に企画されました。

はじめに、大阪国際交流センターの大野美保子さんが、住之江区で暮らす外国人住民の現状についてクイズ形式で出題。皆さんも積極的に参加し、会場は、一気に和やかな雰囲気になりました。

続いて4人の外国人代表者がスピーチを行いました。ドイツから来日したリーダーグループスマン アンケさんは、外国人が日本で保証人を見つけるのは難しく、家を借りたり、クレジットカードの発行に苦労したこと、役所で名前をパソコン登録する際、文字数制限のためフルネームが使えないなどの困りごとについて話しました。

ベトナムから来たグエン・クオック・フイさんは、海外でチャレンジをしたく、安全で衛生的な日本を選んだと話し、日本に住んでみて、仕事仲間から「助かるよ」と声を掛けられたことが嬉しかったと発表しました。地域住民の皆さんは、これらの話を真剣な眼差しで聞いていました。

心を開いて話し合えば誤解が解けて理解につながる

引き続き行われたグループディスカッションでは、地域住民と外国人住民で1つのグループをつくり、6グループがそれぞれ自由なテーマで話し合いました。

日本の文化と他国の文化の違いが話題の中心となり、地域住民も外国人住民も、その違いを理解しあった様子で話し合いが進んでいました。

そして全体共有では、各グループの地域住民が話し合った内容について発表。あるグループは、「考え方の違いが分かった。これからは朝のあいさつなど、気軽に声掛けをしていきたい」と話しました。

休日の過ごし方や趣味の話、同じ地域に住んでいるという共通点から、近所のスーパーでのお得な商品などの生活に役立つ情報を共有していたグループ、日本の文化にまつわる話題を中心に話が進んだグループなどもあり、それぞれにディスカッションを楽しんだ様子が見られました。



終始和やかな雰囲気で行われたグループディスカッション

最後に、参加した外国人住民からは、「同じ地域に暮らす日本人と話す機会がなかったので、話せて楽しかった。話し合うことで誤解が解け、理解に繋がるので、このような機会があることは嬉しい。外国人の困りごとを聞いてくれてありがとう」と伝えられました。

今回の交流会では、相互理解のためには、外国人住民と日本人住民のコミュニケーションが欠かせないことが分かりました。このような交流会がさまざまな地域で行われればと思います。

問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター

TEL:06-6765-4041 FAX:06-6765-5618

Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp

厚生労働大臣表彰受賞!!

福祉分野等のボランティアで長年活躍し、功績を残した人々に贈られる厚生労働大臣表彰。令和4年度、大阪でこの賞を受賞した2つの団体をご紹介します。

フラットに、多様な人が
集う『出会いの場』

サロン・あべの(阿倍野区)

今年で活動37年目を迎える『サロン・あべの』は、市内各所で展開されているサロン活動の先駆的存在。市内で初めてのボランティア・ビューロー(ボランティア・市民活動センターの前身)が阿倍野区に誕生した際、車いすでもボランティアとして参加していた富田慶子さんを中心に、障がいがある人もない人も、お互い様で話ができる場づくりをめぐりスタートしました。

以来、『出会い、ふれあい、助け合い』を基本に、毎月一度、ゲストを迎えてのお話会や防災講座など、多彩な内容で出会いの場を企画。障がいがある人もない人も同じ体験を共有し、理解し合うことで、参加者の誰もが対等の関係



(写真左から)山田国広阿倍野区長、下村実幸さん(代表代理)、堤あやかさん

を育んできました。

また定期的に機関誌『サロンあべの』を発行し、サロンに来られない人にも、誌面の上での出会いの場を提供し続けています。

「サロン・あべのではみんながフラットな関係で、受け入れ合い、寄り添い合える、いい意味でのゆるさがあります。それが強みであり、37年間続いてきた理由なのかなと思います」と、運営委員メンバーの堤あやかさん。

お互いを理解しあうための出会いの場として、心地良い地域の居場所として、『サロン・あべの』の活動は、これからも続いていきます。

問合せ

あべのボランティア活動センター

TEL:06-6628-3434 FAX:06-6628-9393



毎年恒例の長居植物園散策。
富田慶子さん(前列中央)を囲んで。

外国人学生に寄り添い
支え続けて30年

NPO法人アジアハウス(生野区)

『NPO法人アジアハウス』(以下、アジアハウス)は、日本語学校と学生寮を一体的に運営し、留就学生が日本で安心して学び、暮らすための支援を行っています。

「保証人や保証金の問題で部屋を借りることが難しい外国人学生のために、1992年に『すみかぜ第寮』を建設し、部屋の提供を行ったことが活動の始まりです。これまで、多くの日本語学校に在籍する1500人以上の学生が寮から巣立っていきました。そしてその経験を生かし、2006年に、日本で



漢字と日本の文化に親しむ「習字」の授業



寮生活で日本の暮らしやルールを理解

の大学進学をめざす外国人のために『海風日本語学舎』を開校しました」と、理事長の辻本慶子さん。

現在は、南アジアを中心にさまざまな国から来日した約100人の学生が日本語を学び、寮生活を通じて、日本での慣習や季節ごとの行事などへの理解を深めています。また18人の教職員が親身になって学生たちに寄り添い、無料の昼食提供などで生活面も支えています。

日本語が十分に話せない*ニューカマーの人やそのこどもたちも多く生活している生野区。多様な国のこどもたちが育ちあえる地域をめざして、『アジアハウス』と協力関係にある保育園による支援拠点づくりも動き出しており、今後の活動がますます楽しみです。

*1980年代以降に日本へ渡り、長期滞在する外国人

問合せ

生野区ボランティア・市民活動センター

TEL:06-6712-3101 FAX:06-6712-3001

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから 団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④弦楽器ボランティアメンバー募集

福祉の管弦楽団まごころ

<http://www.orch-magokoro.com/>

日本初のボランティア・社会貢献専門の合奏団!!福祉の場で、あなたのあたたかい心をボランティア演奏に活かしてください。まずは行動・ご見学を!

日程 日曜日(月に2回程度・出欠早退は自由です) 13:00~16:00

場所 都島区民センター(都島区中野町2-16-25)
JR「桜ノ宮」「京橋」「大阪城北詰」駅から徒歩約10分
地下鉄「京橋」「都島」駅から徒歩約15分

人数・条件 福祉の場でのいろんなジャンルの曲(難曲はありません)の合奏に参加できる程度の方。譜面台はご持参ください。
交通費:対外演奏の場合、支給されることもあります。
参加費:500円(ご見学のときは不要)

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ TEL/090-1481-9910

Eメール magokoro@gold.ocn.ne.jp (担当:仲川)

⑤お試しボランティア大募集!!~「ちょこっとお手伝い」しませんか~

中央区社会福祉協議会

<http://www.osaka-chuo-syakyō.jp/>

中央区にお住まいで高齢者・障がいのある方・子ども等を対象にボランティア活動者を募集します。買い物、掃除など活動時間は1時間程度です。

日程 3/1~4/28(日、祝除く) 9:00~17:00

場所 利用者宅

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所

問合せ▶ 〒542-0062 中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも

TEL/06-6763-8139 FAX/06-6763-8151

Eメール tiiki@eos.ocn.ne.jp (担当:御木)

⑥ボランティアさん募集です♪

げんキッズ

障がい児童をお持ちのご家族さんが集まるイベントを立ち上げたばかりなので、イベント時等のお手伝いがとても助かります。ボランティアさんやお母様、お父様、子どもさん、色んな人お気楽に問い合わせして下さい。

日程 毎月第3土曜日 ※詳細時間はお問い合わせください

場所 大正区社会福祉協議会(大正区小森西1-14-3)
JR「大正」駅
市バス「小森」から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/070-2266-1313

Eメール k_k_kazu_1313_smile@au.com

①「淀川ピックアップウォーク」ボランティア募集

NPO法人 大阪海さくら

<https://www.osakaumisakura.com>

毎月一度、此花区の淀川河口近くでごみ拾い活動をしています。海の環境を守るため、一緒にボランティアをしてみませんか?

日程 毎月第3日曜日 10:00~12:00(雨天中止)

集合場所 伝法公園(此花区伝法3-14)
阪神なんば線「伝法」駅下車右角

人数・条件 どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

申込方法 参加自由(申込不要)

問合せ▶ TEL/090-6375-5658

Eメール oceanloverock@gmail.com (担当:那須)

②日本語ボランティア募集

市岡日本語教室

<http://ichioka-nihongo.org/>

市岡日本語教室では新規ボランティアのための説明会、研修会を行います。金曜日の夜に活動できる人、ぜひご参加ください。

日程 3/24(金)新規ボランティア説明会
3/31(金)ボランティア研修会
4/7(金)日本語教室新年度開始(以後毎週金曜日開催)
各19:00~20:30

場所 港区民センター(港区弁天2-1-5)
JR・地下鉄「弁天町」駅から徒歩7分

人数・条件 どなたでも 正会員になれば年会費3000円が必要です

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/090-8538-5253

Eメール vivre778@gmail.com (担当:札葉)

③おとな食堂、子ども食堂のボランティアスタッフを募集!

特定非営利活動法人希望の居場所

<http://1000c.jp>

毎週火曜日に高齢者向けのおとな食堂、第3土曜日に子ども食堂をしています。調理や接客をお願いします。

日程 おとな食堂:4/4(火)・11(火)ほか毎週火曜日 10:30~15:00
子ども食堂:4/15(土)ほか毎月第3土曜日 10:30~15:00

場所 希望の居場所(都島区都島本通3-26-24)
地下鉄「都島」駅1番出口から徒歩5分
JR「桜ノ宮」駅東出口から徒歩12分

人数・条件 どなたでも(定員:先着順)
交通費・食事あり

申込方法 電話・FAX・Eメール・HP・来所

問合せ▶ 特定非営利活動法人希望の居場所

〒534-0021都島区都島本通3-26-24

TEL/06-7175-4748 FAX/06-7175-1099

Eメール 1000c.eikan@gmail.com (担当:前田)

⑪一緒に英語を学び、外国人へのサポートをしませんか。

ATM英語教室

都島区の「井戸端」で月に3回英語を学んでいる社会人です。英語ができるようになって、外国人のサポートをしたいです。

日 程 第1・2・3水曜日18:00～19:50
第1と3は日本人の先生で、第2はアメリカ人の先生です

場 所 井戸端(都島区都島南通り2-14-29)
JR・地下鉄「京橋」駅北出口

人数・条件 小・中・高校生はお断りしています。参加費:3,000円/1ヵ月

申込方法 Eメール・来所

問合せ▶ 〒534-0023 都島区都島南通り2-14-29 井戸端
TEL/090-9868-7852
Eメール machy0411@gmail.com (担当:山田)

⑫ファミリー子育て何でもダイヤル相談員養成講座2023

公益社団法人子ども情報研究センター

<https://kojoken.jp/soudan/family-kosodate.html>

ファミリー子育て何でもダイヤルは1997年から子育ての不安や自身の悩みをかかえている方が安心して話せる場として毎週水曜日に開設しています。

日 程 4/23(日)、5/13(土)・21(日)の3日間
いずれも2コマ(①13:00～14:20②14:30～15:50)

場 所 HRCビル(港区波除4-1-37)
JR「弁天町」駅北口から徒歩10分
地下鉄「弁天町」駅4番出口から徒歩15分

人数・条件 どなたでも 参加費:5,000円(連続受講)

申込方法 Eメール・HP 締切:4/20(木)

問合せ▶ TEL/06-4708-7087
Eメール kenshu@kojoken.jp (担当:今橋)

⑬大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

クレオ大阪子育て館

https://creo-osaka.or.jp/archives/event_north/224

子どもの事故防止、心の発達など大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員に必要な知識を学びます。地域で子育てのお手伝いをしませんか?

日 程 4/18・25、5/9・16・23 各火曜日 全5回 10:30～16:15(日により異なる)

場 所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄「天神橋筋六丁目」3番出口から連絡
JR大阪環状線「天満駅」北へ徒歩約10分

人数・条件 大阪市在住で19歳以上の方・提供会員として登録する意思のある方
定員:30人(多数抽選) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・HP・来所 締切:4/8(土)

問合せ▶ 〒530-0041 北区天神橋6-4-20 7階
TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:岸)

⑭社会のREALにであう入門講座「90分 de REAL」

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

<https://osakavol.org/index.html>

多様な活動の話を聞き、社会のREAL(リアル/現実)にであう入門講座。テーマは身近な外国ルーツの子ども。多文化共生について一緒に考えます。

日 程 3/17(金) 19:00～20:30

場 所 市民活動スクエア「CANVAS谷町」(中央区谷町2-2-20 2F)
地下鉄「天満橋」駅3番出口 から徒歩4分
地下鉄「谷町四丁目」駅1番出口 から徒歩4分

人数・条件 どなたでも(大阪市在住・在勤・在学の方を優先) 定員:10人(先着順)
参加費:無料

申込方法 HP

問合せ▶ TEL/06-6809-4901
Eメール office@osakavol.org (担当:市居)

⑦退職準備セミナー

一般社団法人 大阪労働者福祉協議会

<https://osakarofukukyo.or.jp/>

公的年金の仕組み、退職時にかかる税金等についての基礎講座

日 程 4/15(土) 9:30～11:30

場 所 東大阪市文化創造館(東大阪市御厨南2-3-4)
近鉄「八ノ里」駅から北へ徒歩5分

人数・条件 どなたでも(定員:35人) 参加費:無料

申込方法 電話・HP 締切:4/7(金) 17:00

問合せ▶ TEL/06-6943-6025
Eメール 001@osakarofukukyo.or.jp (担当:高崎)

⑧第22回 阿倍野区子育てボランティア養成講座

阿倍野区子育てボランティア養成講座実行委員会

「子どもも地域も一緒に育とう!ご近所応援団」見守り・声掛けから始める「子育てボランティア」をしてみませんか?子育て中の方も大歓迎です。

日 程 5/16～6/20(毎火曜日全6回) 10:00～12:00

場 所 阿倍野区内(毎回変わります)

人数・条件 阿倍野区内の子育て支援に興味・関心のある方 定員:20人(多数抽選)
参加費:1,000円(資料代・保険料含む)

申込方法 電話・FAX・郵便 締切:4/21(金) 必着
※お電話の申し込みは、平日9:30～15:00
※お子様連れ可(要申込み)

問合せ▶ 〒545-0052 阿倍野区阿倍野筋5-1-17
特定非営利活動法人こももネット(こもものひろば阿倍野筋)
TEL/06-6645-5123 FAX/06-6645-5124

⑨桜満開の淀川べりを水道博物館から毛馬施設へ

NPO法人 大阪ウォーク・トーク

<http://osakawalktalk.org/>

淀川の改良工事や施設建造物など水都「大阪」の治水や利水に挑戦した先人たちの夢の跡を追って、桜が咲き誇る川べりを歩きませんか。

日 程 4/4(火) 10:30～13:00

集合場所 「地下鉄「西中島南方」駅②出口 南改札口(淀川区西中島3-18)」
阪急「南方」駅 きた西改札口から南に60m

人数・条件 どなたでも 参加費:500円(ガイド料・資料・保険代込)

申込方法 HP 締切:4/2(日)

問合せ▶ TEL/090-8656-4600
Eメール keiko.yamauchi.0217@gmail.com (担当:山内)

⑩楽しい宇宙と望遠鏡講座「天の川と系外銀河を学ぼう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaideshoshi/>

望遠鏡で星を見るのが楽しくなる講座です。天の川と銀河系の関係、遠くの銀河を学びます。

日 程 4/1(土) 14:00～16:30

場 所 阿倍野市民学習センター(阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのペルタ3階)
地下鉄「阿倍野」駅の真上
JR「天王寺」駅から南へ徒歩10分

人数・条件 小学5年生以上 定員:27人程度(多数抽選) 参加費:無料

申込方法 HP 締切:3/30(木) 必着

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
Eメール k337yjunamg@gmail.com (担当:モミヤマ)



⑮第35回 地域福祉を支援する「わかば基金」

NHK厚生文化事業団

<https://www.npwo.or.jp>

「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の輪を広げるための支援をしています。

助成対象 ①支援金部門：1グループにつき、最高100万円(15〜20グループを予定)
対象：国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいグループ
②災害復興支援部門：1グループにつき、最高100万円(1〜5グループを予定)
対象：東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた自然災害の被災地に活動拠点を設け、福祉活動を通して復旧・復興を進めている。または、被災地に必要新たな福祉事業を展開したいと考えているグループ
③PC・モバイル端末購入支援部門：1グループにつき、最高10万円(30グループを予定)
対象：地域で福祉活動に取り組んでおり、PCやモバイル端末を使用することで、より高齢者や障害当事者に役立ち、活動の充実を図れるグループ

申請書に必要事項を記入し、提出書類を添付して郵送してください(申請書はHPよりダウンロード)

応募締切 3/29(水)必着 ※郵送のみ受付

問合せ ▶ 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係

TEL/03-3476-5955 Eメール info@npwo.or.jp



⑮【親子講座・性教育】からだのあれこれ みんな知ってる?

ジャングルようちえん

<https://jungleyouchien.amebaownd.com/>

助産師 谷垣律子先生に、自分の体のこと、守る方法を親子で聞いて、一緒に考えてみませんか?

日 程 3/29(水)13:00〜15:45 (幼児向け30分、小学生向け45分、座談会60分)
※途中退出OK

場 所 東住吉区社会福祉協議会 さわやかセンター3階(東住吉区田辺2-10-18)
近鉄「今川」駅から徒歩7分
JR「南田辺」駅から徒歩9分

人数・条件 どなたでも 参加費：1家族1,500円

申込方法 Eメール 締切：3/26(日)

問合せ ▶ Eメール jungleosaka@yahoo.co.jp (担当：馬越)



⑮第13回 大阪帝塚山ロータリークラブ社会奉仕基金 助成金 募集

大阪帝塚山ロータリークラブ

<http://osaka-tezukayama-rc.cocolog-nifty.com/blog/2023/01/post-5bbcd7.html>

奉仕活動の一環として、旧大阪阿倍野ロータリークラブ会員が拠出した資金で基金を設け、約10年間に渡り社会奉仕活動を助成することになりました。この助成金は、助成後1年以内に達成される社会奉仕活動プロジェクトを応援するものです。

助成対象 社会奉仕活動をしている団体。ただし、申込者または団体は、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀県内に限ります。※その他詳細については上記HP参照
助成金額 年間3団体助成(助成額は1団体あたり30万円を上限)

応募方法 申請書、PR資料はA4用紙に各1枚(計2枚)で、必要事項を記入のうえ、Eメールで送信ください。(書式は必要事項が含まれていれば自由作成 詳細はHP参照)

応募締切 4/20(木)16:00厳守

問合せ ▶ Eメール osaka.tezukayama.r.c@gmail.com

※問合せはEメールでのみ受付



⑮不登校脱出・その後の体験をシェアします

ひとリトリート

<https://1retreat.net/>

私は元不登校2児(8歳〜18歳の間を経験)の母です。当時を振り返って、やって良かった事や工夫した事、明るい不登校に繋がった体験をお話します。

日 程 4/8(土)13:00〜15:00

場 所 アサイコンピュータスクール イベントスペース(阿倍野区阿倍野筋3-12-2-111)
地下鉄「阿倍野」駅7番出口から徒歩3分

人数・条件 どなたでも 定員：5人(先着順) 参加費：無料
※託児無し

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ ▶ Eメール mori.mari@1retreat.net (担当：もり)



⑮2023年度配食サービス車「毎日ふれあい号」贈呈先募集

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/

配食サービス車「毎日ふれあい号」1台を贈呈します。デベロ社製、軽ワゴンの特別仕様車(ベース車両はダイハツハイゼットカーゴ660cc)で32食の積載が可能です。

助成対象 地域で高齢者や障がい者を対象にした配食サービスを行っているボランティア団体、民間団体、施設など。
※対象地域：北陸、中部、近畿、四国、中国地方(山口県を除く)。

申請方法 希望理由や配食サービス事業の概要、事業実績、収支報告書(会計報告)、事業計画、予算書、団体の概要などの書類をつけて郵送
締切：5/12(金)必着 ※詳細はHPをご覧ください

問合せ ▶ 〒530-8251 北区梅田3-4-5

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

TEL/06-6346-1180 FAX/06-6346-8681



⑮国際協力セミナー「チベット難民の今」 〜今同じ地球の上で起きていること〜

難民支援NGO "Dream for Children"

<https://dreamforchildren.web.fc2.com/>

今、チベットで何が起きているのか。チベットを追われた人たちはどう生きているのか。日本では報じられないチベットの今をお届けします。

日 程 3/18(土)14:30〜16:00

場 所 大淀コミュニティセンター 第3会議室(北区本庄東3-8-2)
地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」駅11番出口から徒歩約8分

人数・条件 どなたでも 定員：40人(先着順) 参加費：無料

申込方法 HP

問合せ ▶ TEL/06-6374-4086

Eメール dream.for.children.japan@gmail.com (担当：亀田)

その他の助成金情報は
大阪市ボランティア・市民活動センターの
ホームページに掲載しています



<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/subsidy/>

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。

必ず参加前に連絡して確認をお願いします

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

誰でも利用できるLGBTQフレンドリーな居場所

認定NPO法人 虹色ダイバーシティ

当法人が運営する、大阪の天満橋にある常設LGBTQセンター「プライドセンター大阪」は、LGBTQ当事者だけでなく、その周囲の人、LGBTQに関して学びたい人など、誰でも利用することができます。

センター内には、川と公園に面した明るいオープンスペース、LGBTQに関する書籍や漫画、絵本を集めた図書スペース、対面相談等が可能な相談スペースがあります。オープンスペースでは、スタッフとのおしゃべりや読書など、リラックスできる雰囲気の中で自分らしい過ごし方ができます。

開館日は月、木、金、土曜日（祝日・臨時休館日は除く）、開館時間は午後3時から午後8時までです。アクセスや開館スケジュールはホームページをご確認ください。

今後は地域に開かれた場所として、様々なイベントの開催や地域のお祭りなどに積極的に参加し、街に向

<https://pridecenter.jp/>

けてLGBTQの存在を可視化するとともに、「安心できる場所がここにある」ことをアピールしていきます。

当法人の活動も今年で10年となります。SOGI（性的指向、性自認）による格差のない社会をつくり、次世代に繋げていくための活動を通して、支援の輪を広げていきたいと思っています。



初めての方でもぜひお気軽にお立ち寄り下さい!



おくばっくん

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。

(例:2023年5月15日発行号(6月号)に掲載希望の場合は2023年3月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたたんで持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm



こどもたちの多様な感性に出会える、保育園での『おはなし会』

私は小さい頃から本が好きで、ずっとことごと本に関わる仕事をしたと考えていました。大学1年生の時に大阪市大正区の『おはなしボランティア アナンシ』と出会

『おはなし会』で、本との出会いをこどもたちに

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

連載リレーコラム

No.29

がんばれ！

もともと本が好きで始めたボランティアですが、こどもたちが絵本やおはなしに引き込まれる様子を見ると、心を動かされます。最初は興味なさそうにしているも途中でから身じろぎせずに関き入る子、満足して笑顔になる子やほっとして

い、活動を始めました。主に近所の保育園や小学校、図書館などでおはなし会を行っています。おはなし会では、絵本の読み聞かせだけではなく、昔話などを覚えて語るストーリーテリングをします。また関西圏のボランティアさんに向けた講座も主催しており、一緒に学ぶことができるのもアナンシの魅力です。

「こどもと本を繋ぎたい」という想いは、これから先も変わらないと思います。来春から、長年の願い通り、本に関係する仕事に就きます。アナンシでの出会いや学んだことを心に留めて、これからもこどもと本との出会いに貢献していきたいと思っています。

溜息をつく子もいます。また思ってもみなかった箇所まで笑い転げたり、驚いたりする様子を実際に目にして、彼らの想像力や言語感覚の鋭さに感心させられます。本好きのこどもを増やしたいという気持ちはもちろんあるのですが、それ以上に彼らの反応から得るものが大きいので、毎回楽しく活動をしています。

田 美 宙

神戸大学大学院
人文学研究科
はただみ



プロフィール

所属団体: おはなしボランティア アナンシ
趣味: 本を読むこと、古本屋巡り
学年: 修士課程2年生

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)

※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーは
こちらから▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO275号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2023(令和5)年4月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

健康増進を推進する「大阪ウォーキング事業」への 連携協定を締結

当金庫は1月、大阪府ウォーキング協会と健康増進を目的とした「大阪ウォーキング事業」で連携協定を締結しました。

この協定では、同協会が主催するウォーキングイベントやセミナーの開催を通じて、健康増進および生活習慣病予防を推進し、地域社会の持続的成長を応援していきます。主要イベントの「大阪ウォーキング」への協賛のほか、各営業店においてパンフレットを配布し地域の方々に参加を呼び掛けるなど、周知活動にも協力。役職員もウォーキングイベントに参加し、金庫内の健康経営のさらなる推進に取り組みます。



当金庫理事長・高橋知史(左)と
大阪府ウォーキング協会会長・吉田幹夫氏

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

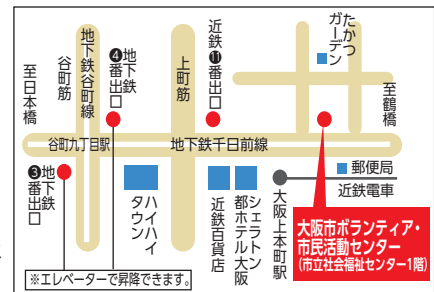
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2023年3月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援を進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668